


施策評価調書〔途中評価(平成30年度実施)〕

長崎県総合計画における位置付け

		作成年月日	平成30年10月26日	長崎県総合計画記載ページ	51	P
将来像	地域 みんなが支えあう長崎県		施策主管所属	教育庁生涯学習課		
基本戦略名	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる		課(室)長名	課長 山口 千樹		
施策名	(1) いつまでも健康で活躍できる社会の実現		施策関係所属(部局名課名)	企画振興部スポーツ振興課、県民生活部食品安全・消費生活課、福祉保健部国保・健康増進課 長寿社会課、教育庁体育保健課		

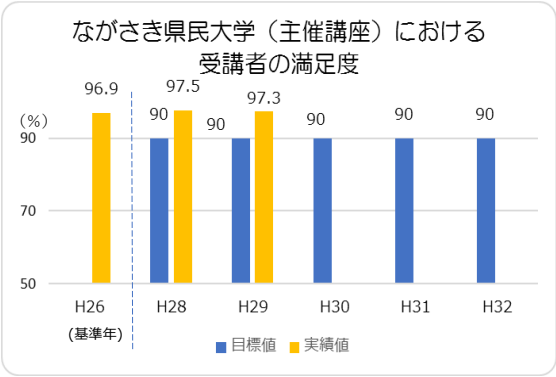
1 施策の内容

<p>【取組の概要】</p> <p>健康づくりや食育の推進等により、県民の健康寿命の延伸や元気づくりを促進します。また、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに親しめる環境づくりやスポーツによる健康づくりに取り組むとともに、生涯学習・社会教育の推進にも取り組みます。</p>		<p>【めざす姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民の健康寿命が延び、生涯現役社会となっている。 ・運動に慣れ親しみ、正しい生活習慣を身に付けた子どもが育っている。 ・スポーツを通じた県民の健康増進が実現している。
---	---	--

2 施策の進捗状況と評価

施策の進捗状況の評価	
<input checked="" type="checkbox"/> A：順調 <input type="checkbox"/> B：やや遅れている <input type="checkbox"/> C：遅れている	
<p><<これまでの成果>></p> <ul style="list-style-type: none"> ●健康づくりの重要性について、様々な機会を捉えて働きかけや啓発活動を行ったことで、健康状態の管理や生活習慣の改善に取り組んでいる人の割合が増加している。 ●「ながさき県民大学」に関する広報活動を行い、また、学習成果を評価すること等により、受講者の学習意欲が高まり、地域における生涯学習・社会教育の振興を図ることができた。 ●体力向上に関する教職員研修の実施等により、教員の資質向上が図られ、体育の授業で運動のやり方やコツがわかった児童生徒の割合が順調に増加している。 ●平成29年度、県内すべての公立小学校において、フッ化物洗口が実施され、12歳児の1人あたりの永久歯のむし歯の本数が徐々に減少している。(H28：1.15本→H29：1.05本) ●平成28年に本県で開催した第29回全国健康福祉祭ながさき大会は、55万人の参加をいただき盛況のうちに終了することができた。 <p><<進捗状況に課題がみられる分野>></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「おいしくヘルシー！ながさき健康プロジェクト」における新基準によるヘルシーメニュー提供店舗数について、増加傾向にあるものの、目標には届いていない。(H28：3店舗 → H29：4店舗<目標5店舗>) ●子どもを対象とした体験型食育教室を開催したほか、講演会や食に関する情報提供、食育への関心を高める事業を実施している。「食に関すること」について、興味のある人の割合は、平成29年度で65%となっている。 	

ながさき県民大学（主催講座）における受講者の満足度



年度	目標値	実績値
H26 (基準年)	90	96.9
H28	90	90
H29	90	97.5
H30	90	90
H31	90	97.3
H32	90	90

3 施策の成果指標の進捗状況

指標	基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	進捗状況の分析
健康状態の管理や生活習慣の改善に取り組んでいる人の割合	目標値①	/	61.0%	64.0%	67.0%	70.0%	73.0% (H32年度)	健診等を通じた働きかけや外食・中食利用者向けヘルシーメニューの開発、事業所等への専門職派遣やテレビ番組による啓発、食生活改善推進員による助言等により、健康づくりの重要性への理解が深まり、生活習慣の改善に取り組む人が年々増加しているものと推察される。今後も更なる拡大に向けて、意識や行動の変容に繋がる取組を推進していく。
	実績値②	57.1% (H26年度)	62.3%	66.2%			進捗状況	
	②/①	/	102%	103%			順調	
ながさき県民大学（主催講座）における受講者の満足度	目標値①	/	90%以上を維持	90%以上を維持	90%以上を維持	90%以上を維持	90%以上を維持 (H32年度)	県が実施する主催講座については、地域の課題解決につながる講座や障害者を対象とした講座等の実施により、受講者の満足度は高く、受講後の学習意欲の向上も見られるなど成果があがった。
	実績値②	96.9% (H26年度)	97.5%	97.3%			進捗状況	
	②/①	/	100%	100%			順調	

4 新たな課題や社会情勢の変化等

●厚生労働省が公表した平成28年の健康寿命（平成30年3月公表）によると、本県は男性が71.83年（全国30位）、女性が74.71年（全国28位）と年々延びつつあるものの、依然として全国平均を下回っており、この延伸に向けた健康づくりの取組が必要である。

●障害者の生涯を通じた多様な学びを支援するため、大学等の実施機関と連携を図り、障害者を対象とした生涯学習講座の充実を図る必要がある。

●全国健康福祉祭ながさき大会で高まった高齢者の社会参加の機運を継承していく必要がある。

●食育に関するホームページやフェイスブックなどの情報発信のほか、「びわ太郎食育通信」の発行による情報提供を行っているが、若い世代へのアプローチとして十分ではない。

●小学校においては、柔軟性及び筋力の低下が大きく、体カテストの結果からも子どもの体力が低下傾向にある。

●平成29年度に小学校におけるフッ化物洗口の実施校率が100%となったが、効果的なむし歯予防法であるフッ化物洗口を継続していく必要がある。

●スポーツ環境の場の充実に向け、国の第2期スポーツ基本計画（2017年度～2021年度）において、総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度や中間支援組織の整備が挙げられており、国、日本スポーツ協会等において検討が始められている。



5 課題を踏まえた今後の対応方針

●「健康長寿日本一の長崎県づくり」を旗印に掲げ、新たに設置する県民会議を中心に、県民が健康づくりを実践できるような環境を整備する。

●共生社会の実現に向けた誰でも学べる環境を整備するため講座の実施機関に働きかけ生涯学習を通じた生きがい作りを推進する。

●高齢者のライフスタイルやニーズにあわせた就業・社会参加機会の拡大を図るなど、高齢者が活躍できる生涯現役の社会づくりを目指す。

●平成30年度から実施している「ながさき食育推進事業費」により、若い世代をターゲットとした大学生食育向上委員会の開催、若い世代向け料理レシピ集の作成など若い世代へのアプローチを強化する。

●学校において、柔軟性を高めるとされるジャックナイフストレッチの実施を継続するとともに体力低位の児童生徒の体力向上に取り組んでいく。

●今後ともフッ化物洗口を推進し、中学校までフッ化物洗口を拡充するとともに、平成32年度の目標である12歳児の永久歯平均むし歯の本数0.85本を目指す。

●総合型地域スポーツクラブの国等の検討状況も踏まえつつ、県内関係団体等と各々の役割分担等を整理し、県の役割・必要事業等を検討していく。

6 施策を推進する事業群の状況

事業群①「健康の保持増進と生活習慣病の予防」

事業群②「高齢者の社会参加と活躍促進」

事業群③「食育の促進（食品安全・消費生活課）」

事業群④「子どもたちの体力の向上と学校体育の推進」

事業群⑤「子どもの望ましい生活習慣の定着に向けた学校・家庭・地域が連携した健康教育の推進」

事業群⑥「生涯スポーツの振興と県民（特に高齢者）の健康増進」

事業群⑦「豊かな人生を支える県民の生涯学習環境の整備」

事業群⑧「地域の元気づくりのための社会教育の充実・活性化」

事業群評価調書 4-(1)-①⑥ 参照

事業群評価調書 4-(1)-② 参照

事業群評価調書 4-(1)-③ 参照

事業群評価調書 4-(1)-④ 参照

事業群評価調書 4-(1)-⑤ 参照

事業群評価調書 4-(1)-①⑥ 参照

事業群評価調書 4-(1)-⑦⑧ 参照

事業群評価調書 4-(1)-⑦⑧ 参照